

# 会報 茶の間

第136号

◆発行(公社)長野シルバー人材センター 〒380-0814 長野市大字鶴賀西鶴賀町 1481-1  
◇電話 026-237-8315 ◇FAX 026-237-8317 ◇就業情報案内電話 :026-237-8332



満席の若里市民文化ホール

## 平成30年度 定時総会を開催



役員一同

後列左より

春原基秀、御沢恒、浜田順子、清水文子、田中和彦、金丸竹一、鷲森勝己、  
坂口義行（事業部会長）、駒村征男、杉原義信（総務部会長）

前列左より

小林重利、滝澤仁恵（監事）、関保雄（監事）、山本浩（副理事長）、  
酒井登（理事長）、原敬治（専務理事）、山岸とし子、手塚明男、清水等  
（敬称略）

## 総会あいさつ



## 理事長 酒井 登

わが国は世界に類を見ない速さで、少子高齢化が進展しております。

また、介護・福祉・

医療環境の改善とりわけ、医療分野の進歩等に伴い平均寿命は伸びつつあり、どの様に各人が心身ともに豊かな老後の生活を過ごすかが大きな関心事となっております。

しかしながら、国の調査によると、年金生活者の家計の現状は一例としては貯蓄などを取り崩して賄っている等、厳しい現状にもあります。急速な少子高齢化の進展に、これまでの社会保障システムでは対応が困難となってきたおり、長生きは歓迎だが、長生きをすればするほど生活に不安(老後不安)を感じる多くの方もいるのではないのでしょうか。

また、少子高齢化に伴い生産年齢人口が減少する中、人手不足が顕在化しております。

国では、経済社会の活力を維持するため、「生涯現役社会」の実現を目指しており、その一つとして、多様な形の高齢者雇用のシルバー人材センター事業の推進を図っております。

シルバー人材センター事業の目的は、高齢者の皆さんに地域に密着した仕事を提供し、健康の維持増進や各人それぞれの生きがいの充実の一助としてい

ただき、地域の活性化にも寄与するものであります。

当センターにおきましては、公益法人として、高齢者の皆さんのそれぞれにあつた多様な働き方の受け皿のひとつとして、また、地域社会の支え手としての役割を引き続き果たしていかなければなりません。

このため、より多くの皆様にシルバー人材センター事業の恩恵を享受していただくよう、会員の拡充や、会員の皆様の就業機会の確保に力を注いできたところでございます。

会員数でございますが、減少傾向が続いていましたが、様々な広報媒体を活用して入会の促進を図った結果、久しぶりの増加となりました。

続いて、就業機会の確保であります。が、昨年度は新たな事業として、介護事業に参入したのを始め、空き家管理事業を行うなど、地域に密着した事業を始めました。また、派遣事業については、週20時間以上働けるよう、長野県に対して指定の要望をしているところでございます。

安全・適正就業であります。が、昨年度は、センターの安全基準に違反して賠償事故を起こしたり、発注者からの苦情も何件かありました。安全・適正な就業に充分ご留意いただくようお願い申し上げます。

## 総会概要

平成30年度の定時総会が、5月30日に長野市若里市民文化ホールで開催されました。当日は565名の来場があり、委任状と合わせると1,828人の出席数となりました。

はじめに「三つの誓い」を全員で斉唱した後、酒井理事長の挨拶、そしてご来賓の小林巖長野職業安定所長様をはじめ関係市町の皆様による祝辞を頂きました。

その後、センター事業に貢献した地域班6班、班長1名、そして15年の長きに亘りセンターに在籍した30名の皆様に対して、理事長から表彰状と記念品が授与されました。

総会では、平成29年度事業報告及び収支決算書について、シルバー派遣事業の就業時間拡大に向けた定款の一部変更、会費を値下げするための会費規程の一部改正につい

て提案されましたが、いずれも賛成多数で承認されました。また、本年は理事の改選期にあたり、理事17名、監事2名の選任について提案されましたが、全ての役員について承認をいただきました。そして平成30年度事業計画・事業予算についての説明があつた後、理事会が開催され、理事長には酒井登理事、副理事長には山本浩理事、専務理事には原敬治理事が互選されました。

再開した総会では、選任された役員19名の紹介がされました。そして、酒井理事長から、退任された理事10名の皆様に感謝状と記念品の贈呈が行われました。

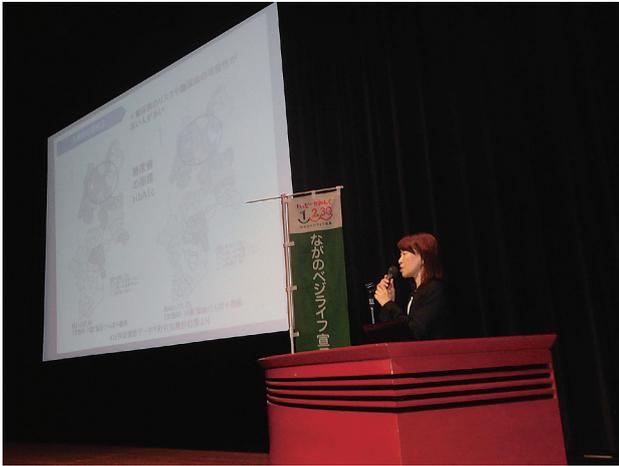
最後に、佐藤長野市議会経済文教委員長の音頭で全員が万歳三唱をし、山本副理事長の閉会のことばで総会が終了しました。

## 平成30年度全会員研修開催

今年も昨年度同様、若里文化ホール(6月12日、15日、18日の3回)、サンホールマツシロ(6月22日)、東部文化ホール(6月25日)の3箇所です。5回の全会員研修を開催しました。会員がセンター事業についてより理解を深め、最も基本となる「安全で適正な就業」を行うことが目的で、毎年実施しているものです。

理事長挨拶、引き続き事務局長による「安全・適正就業義務違反者取扱規程」(今年3月に設置)についての説明があり、会員アンケート記入後長野市出前講座「長野ベジライフ宣言 ハッピーかみんぐ1, 2, 30 今から実践」と、熱中症予防について長野市保健師さんから受講しました。

今年度は1, 430人の出席でしたが、義務出席の事業ですのでお互いに予定を調整し合い、全員が出席されるよう努力・協力をお願いします。



## 安全・適正就業委員

(敬称略)

### ●委員長

坂口 義行 (理事)

### ●委員

杉原 義信 (理事)

清水 等 (理事)

手塚 明男 (理事)

金丸 竹一 (理事)

清水 文子 (理事)

小林 重利 (理事)

春原 基秀 (理事)

石坂 俊幸 (手刈り除草班)

小柳 優 (機械刈り除草班)

山崎 信衛 (植木班)

松本 功 (道路植栽帯管理)

上野とし子 (ライフ・サポート)

大坪 滋弘 (運転)

中村 博史 (駐車場整理)

金子 勉 (大型商業施設)

サービス班

## 就業適正化委員 (敬称略)

### ●委員長

山本 浩 (副理事長)

### ●委員

杉原 義信 (総務部会長)

坂口 義行 (事業部会長)

清水 等 (事業部会長)

駒村 征男 (総務副部会長)

## 「安全・適正就業

### 義務違反者取扱

#### 規程」について

この規程は、会員の不適正な行為の防止および安全・適正就業の推進を図ることを目的とし、安全衛生および適正就業に適合しない会員に対する処分等の基準を定めたもので、平成30年2月28日に理事会で決定、3月1日より施行されました。具体的な違反項目の処分内容等については、「会員のしおり(平成30年度)」に掲載されています。

会員の処分が目的ではなく、発注者がより安全に、より安心してシルバー人材センターをご利用いただけるために設置されたことをご理解の上、会員としての自覚と誇りを持って就業に臨みましょう。

## 独自事業班紹介

# パソコンサポート班

PCS (パソコンサポート) 班は結成以来10年を経過した前年度末、受講生、講師の減少により存在の危機にさらされました。

当時はパソコンが飛躍的に伸び始め今まで触ったことのない人も興味を持ち始め講師も受講者も大変賑わっていたのが、僅か十数年で劇的な進化をとげ今やスマホ、タブレットの時代。

しかし、一方ではタブレットを常時使っている人やPCを常に使える環境にある人がスマートフォンを持つ意識が薄れてきている現状更にインターネットが常に必要でない人達にとって高額な基本料金まで払って扱いづらいスマホを利用する価値が見いだせない現状があります。今年度初、新たに受講生を募集したところ現役時代パソコンに触れる機会がなかった方や地区で役が回ってきた方々が今一度勉強したいという事で講師陣も心新たにしているところです。

同じことを何度聞いてもOKをモットーに、生活や趣味に役に立つ講座、ゆっくりと楽しんで頭の活性化も出来ればと思っています。



## シルバー奉仕デイ実施

本年度第一回目の「シルバー奉仕デイ」を4月6日(金)に実施しました。

このところ雨続きの「シルバー奉仕デイ」でしたが、今回は久しぶりに天気に恵まれ、27の地域班より700名の皆さんにご参加をいただき、地元地区の歩道のゴミ拾いを行ないました。

次回は、10月19日(金)に実施します。



## おくやみ

謹んでご冥福をお祈りいたします

岡村 康子 様	1月21日	三輪班
秋葉 璋欣 様	2月14日	吉田班
西澤 孝夫 様	3月15日	更北班

## 編集後記

八十四歳のYさんは毎晩六時になると晩酌をする。酒の量は年々少なくなるが、一日の締めくくりに習慣で三百六十五日欠かしたことがない。

Yさんの晩酌には大切な流儀がある。それは「明日の予定」をしっかりとてることだ。

翌日その内の三割を達成することが絶対条件である。今日十割達成しても明日二割ではだめで、毎日毎日三割でなければならぬ。

平均の三割達成は認めない。簡単のようで難しいことだという。

プロ野球大ファンのYさんには「川上 大下 青田、ちよつと若けりや長島 王も生涯打率が三割ちよぼちよぼ」から来ているらしい。そして息子達にも「衣食住」のうち「住」を留意したという。これも三割か？

年の数はバケツからこぼれ落ちる程しているが、Yさんの目標の高さに感銘。

これがまあ俺の未来か酒三合。(記・杉原)